

## 第6節 女性青少年課

### 〔総括概要〕

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国の社会を決定する最重要課題と位置づけられており、今日の少子・高齢化の進展や国内経済の成熟化などの社会経済情勢の急速な変化に対応する上でも緊要な課題となっている。

このような状況の中、本市では平成22年6月に、男女共同参画に関する施策の推進について総合的かつ計画的に取り組むための庁内推進体制の整備を図るため、市長を本部長とする「栃木市男女共同参画推進本部」を設置し、男女共同参画社会基本法の理念に基づき、市や市民、事業者及び教育関係者が一体となって男女共同参画の推進に取り組む法的整備を図るため、平成23年3月「栃木市男女共同参画推進条例」を制定した。そして、条例第8条に基づく初めての行動計画として平成25年3月「とちぎ市男女共同参画プラン（平成25年度～平成29年度）」を策定した。

また、男女共同参画社会の実現の意識づくりを図るために、「男女共同参画のつどい」の開催、「男女共同参画週間」啓発のための街頭啓発、「ミニ市民のつどい」の開催、「男女共生大学」の開設、女性団体等の育成支援などを行った。

働く婦人の家については、女性団体や講座OB自主グループに活動場所の提供を行った。また、市内に居住または市内事業所に勤務する女性等を対象に、エコ手芸講座、3B体操講座、レカンフラワー講座、料理講座を開講して福祉の増進に努めた。

青少年行政については、青少年の健全育成と社会参加の促進を目的として、青年団体等の育成・指導や青少年健全育成講演会、非行防止懇談会、家庭の日推進事業、模範児童・生徒の表彰、青少年育成市民会議の設立支援等を行った。また、若者が気軽に立ち寄り、自由な発想で活動できる居場所の整備の参考とするため、市内に通学する高校生・大学生等に対してアンケート調査を行った。

青少年育成センターについては、街頭補導活動、少年相談業務、環境浄化活動等を重点事業として、学校、警察、青少年問題協議会、教育委員会等の関係機関・団体と連携しながら青少年の健全育成に努めた。

栃木勤労青少年ホームについては、平成18年度から指定管理者制度により管理を民間委託し、市内に居住または市内事業所に勤務する青少年を対象に、英会話・テニス・バドミントン・エアロビクス等の教養講座及びスポーツ講座を開講した。

また、各種サークルの育成を図るとともに、ホーム行事の開催及び相談事業の実施により、勤労青少年相互の交流並びに資質の向上、勤労青少年の福祉の増進に努めた。

勤労者体育センターについても、勤労青少年ホーム同様に指定管理者に委託し、勤労者をはじめとした一般市民の健康の保持増進とスポーツの振興を図るための施設として、その有効利用に努めた。

## 男女共同参画推進担当

### 1 各種委員会等への女性・若者（35歳未満）委員構成状況調査の実施

男女共同参画社会の形成に関する施策の推進状況を把握するため、庁内における女性と若者の委員会等への参画状況の調査を実施し、参画の拡大を図った。

#### (1) 女性委員の登用について

- ・委員会等の組織数 44組織
- ・構成人数 590人
- ・うち女性数 155人
- ・女性登用率 26.3%（4月1日現在）

#### (2) 若者（35歳未満）委員の登用について

- ・委員会等の組織数 44組織
- ・うち若者ありの組織数 5組織
- ・若者登用率 11.4%（4月1日現在）

### 2 男女共同参画基本計画の策定

#### (1) 男女共同参画推進本部会議の開催（庁議と兼ねる）

##### ア 第1回会議

- ・開催日 6月15日（金）
- ・会場 市役所正庁
- ・内容 男女共同参画基本計画（案）について  
パブリックコメントについて  
今後のスケジュールについて

##### イ 第2回会議

- ・開催日 10月24日（水）
- ・会場 市役所第5会議室
- ・内容 男女共同参画基本計画（最終案）について

#### (2) 男女共同参画推進本部幹事会・検討部会からの意見聴取

- ・内容 男女共同参画プラン（案）及び目標値の検討
- ・募集期間 5月14日（月）～5月25日（金）
- ・意見提出 11人（32件）

#### (3) パブリックコメントの実施

- ・内容 男女共同参画プラン（案）について
- ・募集期間 6月26日（火）～7月25日（水）
- ・意見提出 4人（19件）

#### (4) 男女共同参画審議会の開催

- ・開催日 9月21日（金）
- ・会場 市民会館
- ・内容 男女共同参画基本計画の策定について
- ・出席者数 12人

### 3 男女共同参画推進本部検討部会部会員研修会の実施

男女共同参画に関する意識啓発と理解を深めるため研修会を実施した。

#### (1) 第1回研修会

- ・実施日 5月24日（木）（男女共生大学第1回講座と兼ねる）
- ・会場 市民会館
- ・内容 講演 「落語で聴こう！ポジティブ・アクション」  
講師 男女共同参画落語創作・口演家 千金亭値千金氏
- ・出席者数 44人（出席率55.8%）

#### (2) 第2回研修会

- ・実施日 8月9日（木）（男女共生大学第5回講座と兼ねる）
- ・会場 市民会館
- ・内容 講演 「東日本大震災等から見た男女共同参画」  
講師 福島県南相馬市男女共同子ども課男女共生参画係長  
小林俊雄氏
- ・出席者数 60人（出席率77.9%）

### 4 男女共同参画啓発事業

#### (1) 男女共同参画週間事業

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する理解を深め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、パネル展の開催並びに広報紙への記事の掲載等を行った。

- ・実施日 6月22日（金）～29日（金）
- ・会場 市役所ロビー、市民会館ロビー
- ・内容 男女共同参画週間パネル展示  
リーフレット配布

#### (2) 男女共同参画地域推進員の活動

ア 「ミニ市民のつどい」の開催

実施日	会場	内容	参加人員(人)
12月1日(土)	昭和町公民館	昭和町自治会ミニ市民のつどい 蔵の町子ファミリーによる紙芝居「向こう三軒両隣」	35
2月4日(月)	室町公民館	室町自治会ミニ市民のつどい ビデオ鑑賞「気づくことがはじめての一步」	32

イ 自主研修会の開催

- ・実施日 6月24日（日）
- ・会場 視察研修に向かう車中
- ・内容 ビデオフォーラム「日常の人権Ⅱ」
- ・参加人数 9人

ウ 男女共同参画週間の街頭啓発

- ・啓発物資の配布

実施日	会場	参加人員(人)
6月22日（金）	カインズモール、ベイシア大平店	4

6月24日(日)	とりせん藤岡店	4
6月26日(火)	フジマート都賀店	7
6月27日(水)	イオン栃木店	12
6月27日(水)	ヨークベニマル栃木祝町店	7

エ 視察研修の開催

県内他団体における取組を参考として今後の啓発活動に役立て、本市の更なる男女共同参画の推進を図るため、栃木県女性団体連絡協議会、栃木県、公益財団法人とちぎ男女共同参画財団主催の「とちぎ県民のつどい」に参加した。

- ・実施日 6月24日(日)
- ・会場 パルティとちぎ男女共同参画センター
- ・内容 地域推進員グループ・団体等の発表  
記念式典  
講演 「ワーク・ライフ・バランス～高齢社会の仕事と子育てから、仕事と介護への変化～」  
講師 (株)ニッセイ基礎研究所 主任研究員 土埴内昭雄氏
- ・参加人員 21人

(3) 「とちぎし男女共同参画のつどい」の開催

男女共同参画社会づくりを目指し、「とちぎし男女共同参画のつどい」を開催した。

- ・実施日 6月30日(土)
- ・会場 市民会館
- ・内容 第1部 男女共同参画標語・写真コンテスト表彰  
第2部 講演 「男女共同参画社会の進んだ国ノルウェーの女性や男性の生き方から学ぶ」  
講師 元駐ノルウェー大使 河合正男氏  
発表 「男女共同参画スタディツアー」成果発表  
発表者 とちぎつばさの会海外研修実行委員会の皆さん
- ・参加人員 124人

(4) 男女共同参画のつどいに併せての啓発事業

「男女共同参画」に関する標語と写真の募集を行い、表彰した。

区 分		応募数(点)	入 賞
標語	小学生の部	447	最優秀賞1点、優秀賞5点、優良賞10点、佳作20点
	一般の部	22	最優秀賞1点、優秀賞2点
写真		8	最優秀賞1点、優秀賞2点

(5) 北関東男女共同参画会議の参加

男女共同参画社会の実現を目指すため、群馬県・茨城県・栃木県の有志が一堂に会して学習し、共に連携して行動することを目的に開催された「第8回北関東男女平等参画 会議inみと～ぬくもりのある地域を目指して～」に参加した。

- ・開催日 7月29日(日)
- ・会場 水戸市国際交流センター

・参加人数 18人

基調講演「男女平等参画とみとの魅力発信」 講師 水戸市長 高橋 靖氏	
分科会	第1分科会「震災を体験して学んだこと」
	第2分科会「外国人の感じる男女平等」
	第3分科会「ワークライフバランスを目指して」
現地見学会「水戸芸術館館内ツアー」	

(6) 男女共同参画推進事業の広報

市広報紙、市ホームページ、ケーブルテレビによる広報を行った。

5 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業の周知

内閣府では「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」として、長引く避難生活や原子力発電所の事故に伴う不安や悩み、配偶者等からの暴力（DV）などの相談を受けるため、『女性のための電話相談・ふくしま』を開設し、その窓口について市ホームページにおいて周知した。

6 栃木県次世代人材づくり事業への派遣

県民一人ひとりが地域や社会の担い手となり、力を発揮することができる「人づくり」を推進するため、人間性豊かで、地域に貢献する青年リーダー及び女性リーダーの育成を県と市町が共同で実施する次世代人材づくり事業への参加について募集を行った。

・参加者 なし

7 日本女性会議への参加

市内の各女性団体等において活動している市民が、女性団体及びリーダーとしての役割や活動の現状を学ぶとともに、協調と連帯意識を持って、男女共同参画社会の実現に向けた活動を展開していくために、日本女性会議へ参加した。

- ・実施期間 10月26日（金）～28日（日）（3日間）
- ・開催地 宮城県仙台市
- ・参加者数 9人

8 男女共同参画広報紙の発行

男女共同参画について市民の理解と関心を深めるため、男女共同参画広報紙「きららとちぎ（第3号）」を、男女共同参画地域推進員を編集員として3月に発行し、市内全世帯に配付した。

9 男女共生大学の開設

男女共同参画社会の実現に向け、共に学び考え、それぞれの活動を通して、自分らしく生き生きと活躍、行動できる力を身につける人材を育成するため男女共生大学を開設した。

## (1) 実施状況

受講者数 一般55人、 特別4人 計59人

講座	実施日	講座内容	参加人員(人)
第1回	5月24日(木)	*開講式 *落語で聴こう！ 「『自分語』で語ろう！男女共同参画」 男女共同参画落語創作・口演家 埼玉県鶴ヶ島市職員 阪本 真一 氏	30
第2回	6月14日(木)	*はつらつ健康教室 「明るい未来の自分のために ～笑顔で習慣～」 健康運動指導士 原 美穂子 氏	23
第3回	7月14日(土)	*家庭教育学級との共催 *講話「親が子どもとコミュニケーション をうまくとるために」 スマイルコミュニケーション代表 小林 里江 氏	23
第4回	7月26日(木)	*現地見学会 「防災について考えよう」 栃木県防災館 なかがわ水遊園	22
第5回	8月9日(木)	*講話「防災と男女共同参画」 福島県南相馬市職員 小林 俊雄 氏	21
第6回	8月23日(木)	*H23栃木県次世代人材づくり事業研修発表 H23栃木県次世代人材づくり事業研修 参加者 青柳 恵美子 氏 宇賀神 祐貴 氏 *しゃべり場	19
第7回	9月13日(木)	*講話と調理実習 ヘルシー料理「健康と食生活について」 管理栄養士 杉山 敦子 氏	17
第8回	9月27日(木)	*講話「心豊かに地域で生きる ～まちづくりの視点から～」 宇都宮大学教授 陣内 雄次 氏 *閉講式・修了証書交付	19

## (2) 運営ボランティアの活動

男女共生大学の受講生自らが大学の運営に主体的に携わることにより、男女共同参画社会の実現に向けた人材育成を図った。

- ・運営ボランティア 6人
- ・活動の内容 講座の運営・記録・託児等、講座に関する役割を分担して行う。
- ・運営委員会の開催 年3回 学習プログラムや活動内容の検討ほか

## 10 女性団体活動支援

### (1) 栃木市栃木女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会 場	事 業 名	参加人員(人)
5月30日(水)	市民会館	定期総会 研修会「防災について」	72
6月 6日(水)	日光市ほか	視察研修会 日光市在宅介護支援施設「ほほえみ」 戦場ヶ原ほか	36
6月 8日(金)	大平公民館	第1回栃木市女性団体連絡会役員会	8
8月23日(木)	栃木文化会館	研修会「サマーコンサート パートⅣ」	225
8月27日(月)	藤岡総合支所	第2回栃木市女性団体連絡会役員会	8
10月3日(水)	渡良瀬遊水地、 おおひら歴史民俗資料 館、おおひら郷土資料館	栃木市女性団体連絡会交流会視察研修	28
2月16日(土)	市民会館	2013とちぎ市民環境まつり 栃木市消費生活展	延べ 1,350
2月25日(月)	都賀公民館	第3回栃木市女性団体連絡会役員会	6
3月22日(金)	市民会館	第4回栃木市女性団体連絡会役員会	6

### (2) 自主学習グループへの活動支援

自主学習グループに対して、会議室の提供、男女共同参画に関する情報提供、活動に対する指導・助言等を行った。

#### ・支援対象グループ

ういめんず・栃木、蔵の町子ファミリー、栃木市女性史研究会「あいの会」、  
栃木市高齢社会を考える「パールの会」、きらきらの会

## 11 働く婦人の家活動状況

### (1) 活動の概要

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
主催事業	65	0.6
自主グループ	7,030	66.8
そ の 他	3,437	32.6
計	10,532	100.0

### (2) 活動区分

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
勤労婦人	4,032	38.3
勤労者家庭婦人	5,323	50.5
そ の 他	1,177	11.2
計	10,532	100.0

## (3) 月別活動状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	924	881	891	1,019	508	876	887	951	797	804	1,001	993

## (4) 曜日別活動状況 (単位：人)

曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
人数	1,850	5,200	284	1,279	1,069	800	50

## (5) 年齢別活動状況 (単位：人)

年齢	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
人数	296	185	96	2,822	7,133

## (6) 事業実施状況

## ア 主催講座

講座名	エコ手芸講座	3B体操講座	レカンフラワー講座	料理講座	計
回数(回)	1	1	1	1	4
延べ人数(人)	15	16	14	20	65

## イ 自主グループ等

区分	回数(回)	延べ参加人数(人)	備考
書道	49	342	2グループ
太極拳	39	468	
ヨーガ	39	136	
卓球(ラージ)	142	1,525	3グループ
押し花	22	85	
茶道	47	313	
フラダンス	14	54	
リズム体操	42	4,107	
計	394	7,030	

## ウ その他

区分	人数(人)	備考
運営委員会	5	
団体利用	3,432	消費生活センター利用等
計	3,437	

## 青少年担当

## 1 青少年行政関係

## (1) 青年団体の育成

市内青年団体等の連携と協調を図るとともに、社会参加活動を通し、青年の交流とリーダーの育成に努めた。

ア とちぎユースネットワークの活動

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
通年	栃木勤労青少年ホーム	月1回 定例会開催	-
5月27日(日)	かかしの里	大平クリーンアップ作戦	10
6月4日(月)	栃木勤労青少年ホーム	平成24年度総会	10
8月26日(日)	あゆみ学園	あゆみ学園納涼祭	16
12月23日(日)	栃木地域内の家庭	サンタの宅配便	12
3月3日(日)	市民会館	国際交流協会ふれあいの集い	14
3月23日(土) 3月24日(日)	寺尾中セミナーハウス	青年リーダー研修会	12

(2) 青少年問題協議会

- ・理事・幹事会、総会の開催
- ・青少年健全育成講演会及び非行防止懇談会の開催(各中学校及び子ども会育成会)
- ・「家庭の日」推進事業
- ・青少年対策(心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動の一環として、青少年の非行・被害防止全国強調月間、子ども・若者育成支援強調月間の推進、とちぎの子ども育成憲章の普及・啓発)
- ・児童生徒対策(模範児童・生徒の表彰)
- ・啓発活動(広報とちぎの7月・11月・3月における啓発記事の掲載及び7月に大型店舗前における街頭啓発キャンペーン)

(3) 青少年育成市民会議

次代を担う心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とする栃木市青少年育成市民会議及び栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部の設立支援に努めた。

- ・栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部 9月13日設立総会開催
- ・栃木市青少年育成市民会議 3月14日設立総会開催

(4) 青少年育成支援施設アンケート調査

若者が気軽に立ち寄り、自由な発想で活動できる居場所の整備計画の参考とするため、アンケート調査を実施した。

ア 対象者

- ・市内の高等学校・大学・専門学校に通学する学生 1,220人
- ・下記区分により無作為抽出をした18歳以上30歳未満の市民 1,000人

(単位:人)

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	計
男	250	100	50	50	50	500
女	250	100	50	50	50	500

計	500	200	100	100	100	1,000
---	-----	-----	-----	-----	-----	-------

イ 調査方法

無記名式の回答用紙による調査

ウ 調査期間

1月～2月

エ 回収結果

- ・回収数 1,406人
- ・回収率 63%

2 青少年育成センター

青少年育成センター活動状況

少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、少年相談業務、啓発広報、環境浄化活動等事業の推進に努めた。

(1) 街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導勤務計画にしたがい、年間255回、延べ760人の少年補導員が街頭補導に従事し、286人（内女子136人）の少年を不良行為等により補導、青少年の非行防止と健全育成に努めた。

街頭補導実施状況（栃木市全体）

区 分	補導実施状況	
	回数（回）	少年補導員（人）
昼 間	125	348
夜 間	130	412
計	255	760

(2) 少年相談

毎月第2、第4金曜日は、市民生活課で実施している総合相談の一部として実施した。また、青少年育成センターでは随時、少年相談業務を行い、23件の相談を受理し問題解決を図った。

平成19年2月19日より開設した「いじめ相談電話」は、青少年相談員が担当しており、平成24年度の相談件数は8件であった。

少年相談状況（いじめ相談8件を含む）

・相談者別内訳

（単位：件）

区 分 内 容	相 談 者						計
	少年本人	保護者	その他 親 族	教 師	雇 主	その他	
教育相談	3(2)	20(18)	3(2)	-	-	1(1)	27(23)
児童福祉相談	-	2(1)	-	-	-	-	2(1)
補導相談	1(-)	1(1)	-	-	-	-	2(1)
計	4(2)	23(20)	3(2)	-	-	1(1)	31(25)

上記のうち電話	4(2)	22(19)	3(2)	-	-	1(1)	30(24)
---------	------	--------	------	---	---	------	--------

※ ( ) 内は、相談者のうち女性の数

・相談対象者別内訳

(単位：件)

内 訳 内 容	対 象 少 年								
	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	各種学生	有職者	無職者	計
教育相談	1(-)	10(4)	13(7)	-	-	-	-	3(2)	27(13)
児童福祉相談	-	-	-	1(1)	1(1)	-	-	-	2(2)
補導相談	-	-	-	-	-	-	1(-)	1(-)	2(-)
計	1(-)	10(4)	13(7)	1(1)	1(1)	-	1(-)	4(2)	31(15)
上記のうち電話	1(-)	10(4)	13(7)	1(1)	1(1)	-	-	4(2)	30(15)

※ ( ) 内は、相談対象者のうち女性の数

(3) 有害環境浄化活動

ア カラオケボックス、レンタルビデオ店、ポルノ雑誌販売店等の立入調査を実施し、指導を行った。また、平成24年10月1日に施行された栃木県青少年健全育成条例の一部改正に伴い、青少年が利用する携帯電話等へのフィルタリングの定着を図るため、携帯電話販売店の立入調査を実施し、指導を行った。

栃木県青少年健全育成条例に基づく立入調査（単位：箇所）

実施施設	調査箇所
自販機	3
ビデオ、DVD販売・レンタル	2
カラオケ、ボウリング場	1
コンビニ	-
複合カフェ	-
ゲームセンター	-
書店、古本店	-
携帯電話等販売店	2
合 計	8

イ 少年補導員が市内公衆電話ボックス等の有害広告物（43枚）の排除を行った。

(4) 広報、啓発等

7月に「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月に「子ども・若者育成支援強調月間」の広報啓発のため、立看板を市役所等12か所に掲出し、周知を図った。

また、広報とちぎへの掲載、ポスターの掲示、啓発用品・チラシ等の配布による広報啓発を行った。チラシは市内小中学校の児童生徒を通じ家庭に配布した。

(5) 少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、研修会を開催した。

少年補導員研修会

実施日	会 場	内 容
5月17日 (木)	市民会館	講話 「少年犯罪発生状況と少年補導活動について」 講師 栃木警察署 生活安全課 安野聖美智 氏

7月12日 (木)	市民会館	講話 「防災対策について」 講師 消防防災課 須藤亮介 氏
8月23日 (木)	赤城少年院 (群馬県前橋市)	先進地視察研修及び情報交換会
11月19日 (月)	市民会館	講話 「市民活動してみませんか」 講師 地域まちづくり課 藤田正人 氏 ほか2人

(6) 青少年育成センター運営協議会の開催

青少年育成センターの運営について審議するために運営協議会を開催した。

- ・実施日 2月8日(金)
- ・会場 市民会館
- ・内容 平成24年度青少年育成センター運営報告  
平成25年度青少年育成センター運営計画
- ・参加人員 7人

3 栃木勤労青少年ホーム利用状況

(1) 概要

(単位：人)

区分	男	女	合計
ホーム利用登録者数	126	278	404
ホーム利用者総数	5,813	11,280	17,093

(2) 月別利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	432	460	464	570	547	489	578	452	421	469	460	471
女	775	1,009	960	922	995	945	1,116	995	831	895	910	927
合計	1,207	1,469	1,424	1,492	1,542	1,434	1,694	1,447	1,252	1,364	1,370	1,398

(3) 年齢層別利用状況

(単位：人)

年齢	15～19歳	20～24歳	25歳～
男	5	13	5,795
女	6	539	10,735
合計	11	552	16,530

(4) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
男	718	946	681	1,084	949	532	903
女	873	1,252	1,955	1,812	2,569	1,644	1,175
合計	1,591	2,198	2,636	2,896	3,518	2,176	2,078

(5) 講座開講、ホーム行事、クラブ活動等状況

ア 定期講座

講座名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
みんなの英会話	20	23	271	月

バドミントン	20	25	342	火
エアロビクス	30	27	415	火
ソフトバレーボール	20	17	259	水
たのしい料理	12	19	202	水
リラックスヨガ	20	31	598	水
ズンバ	25	27	637	木
ピラティス	25	18	403	木
ビギナーズテニス	20	19	262	木
レッツコーラス(合唱)	20	25	365	金
金曜エアロビクス	25	17	253	金
フラダンス	20	23	311	土
合 計		271	4,318	

イ 就職出張相談

就職等相談

- ・実施回数 45回
- ・相談者数 8人
- ・述べ相談者数 152人
- ・内 容 日常の悩みや社会生活に関する相談・助言

ウ 交流事業等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)	実 施 場 所
4rdサマーイベント	8月11日(土)	58	栃木勤労青少年ホーム
ホーム利用者発表会	12月9日(日)	118	
冬のイベント	2月2日(土)	89	

エ クラブ活動

ク ラ ブ 名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
バレーボール遊人会	月	52	780
バドミントン	火・日	75	756
スポーツパラダイス	水	49	735
とちぎユースネット	木	51	316
J C バンド	木	62	925
着付けクラブ	金	52	420
ブレイクダンス	土	46	184
S S O	土	55	795
街角セッション	土	11	165
フラダンスクラブ	土	66	526

ういすてりあ	日	45	1,235
ベリーダンス	不定期	73	552
インド古典舞踊	不定期	291	291
合 計		928	7,680

#### 4 勤労者体育センター利用状況

##### (1) 利用者総数（単位：人）

市内居住者	41,143
市外居住者	9
合 計	41,152

##### (2) 月別利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市内	3,348	3,542	3,560	3,256	2,630	3,374	3,602	3,560	3,461	3,520	3,547	3,743
市外	—	3	1	1	—	—	2	1	—	—	1	—
合計	3,348	3,545	3,561	3,257	2,630	3,374	3,604	3,561	3,461	3,520	3,548	3,743

##### (3) 曜日別利用状況 (単位：人)

曜 日	日 曜	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
利用者数	3,885	6,196	7,962	6,451	4,206	5,647	6,805

##### (4) 種目別利用状況（団体利用のみ） (単位：人)

種 目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓 球	その他
利用者数	5,040	1,352	9,430	13,707	10,864